

重要業績評価指標(KPI)	年・年度	単位	現状値		実績値:1年目 (R3年度報告)		KPI			進捗率	※ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目 KPIと実績値の比較 (評価等)
			年・年度	数値	年・年度	数値	年・年度	数値	※ 年度累計 の単年度平均		
釧路港年間水揚量	年	トン	H27-30 年平均	122,685	R2年	191,635	R6年	130,000		147.4%	まき網漁業のイワシ水揚げの好調により漁獲量は増え、KPIを大きく超える結果となった。
生乳生産量	年	トン	H30年	70,841	R2年	75,471	R6年	73,293		103.0%	飼料の改善等生乳増産に向けた環境が整ってきたため
野菜出荷量	年	トン	H30年	1,328	R2年	1,363	R6年	1,409		96.7%	好天が続いたことによる収穫量の増加
素材生産量	年	m³	H29年	31,459	R1年	24,669	R6年	35,812		68.9%	公共事業の配分額が少なく、市有林の素材生産が計画通り実行出来なかったため
食料品製造業粗付加価値額	年	万円	H30年	1,315,596	H30年	1,589,425	R6年	1,368,220		116.2%	食料品製造業粗付加価値額は、水産加工関連が大部分を占めているため当該年度の漁獲量等の影響を受けやすいが、本年は目標達成率116.2%となっている。
延べ宿泊客数	年度	万人	H30年度	153	R2年度	67	R6年度	199		33.7%	緊急事態宣言などの新型コロナウイルス感染症対策による外出・往来自粛により、大幅減となった。
k-Biz年間相談対応件数	年度	件	H30年度	797	R2年度	2,124	R6年度	2,300		92.3%	令和2年度は相談体制の強化等のため、事務局体制の強化を行った。その結果、令和2年度の相談件数は前年度の事績値(1,581件)大幅に超え、また第2期のKPIにも近づけることができ、計画どおりの事業者支援ができています。
創業者数	年度	件	H30年度	72	R2-R2 年度累計	50	R2-R6 年度累計	335	67	74.6%	新型コロナウイルス感染症の影響による先行きの見えない経済状況が、創業に踏み切る人の数が伸びない要因になっていると思われる。
年間出炭量	年度	万トン	H30年度	32	R2年度	27	R6年度	30		90.0%	販売先に合わせた生産調整等によるもの。
長期滞在者数	年度	人	H30年度	1,353	R2年度	1,644	R2-R6 年度累計	9,200	1,840	89.3%	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも上半期は落ち込んだものの、Gotoトラベルキャンペーン下での長期滞在型ツアーの催行やリピーターによる滞在などにより復調したものであり、第2期KPIが達成可能な範囲内と評価する。
スポーツ合宿誘致件数	年度	件	H26-30 年度平均	50	R2年度	32	R6年度	65		49.2%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、団体が合宿を見合わせたことが相次ぎ、大幅な減少となった
延べ宿泊客数【再掲】	年度	万人	H30年度	153	R2年度	67	R6年度	199		33.7%	緊急事態宣言などの新型コロナウイルス感染症対策による外出・往来自粛により、大幅減となった。
就労希望者への市内企業情報提供数	年度	件	H30年度	73	R2年度	100	R6年度	150		66.7%	「釧路企業情報」は順調に掲載企業を増やしているが、「はたらく×中高生・つながるプロジェクト」については、新型コロナウイルス感染症の影響等により、作業が遅延している。
女性求職者就職者数	年度	人	H30年度	11	R2年度	9	R2-R6 年度累計	50	10	90.0%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座参加者を当初予定より減らして事業を実施したこともあり、就職者数はKPIの目標値を僅かに下回ったものの、講座内容の工夫等により目標に近い実績値となっており、概ね計画通りに事業を実施できている。
企業立地促進助成件数及び課税免除件数	年度	件	H27-30 年度累計	36	R2年度	5	R2-R6 年度累計	35	7	71.4%	新型コロナウイルスの影響等、不安定な経済状況下で、新規の投資案件が減少傾向にある。
UIJターンの推進による就職数	年度	人	H30年度	9	R2年度	3	R2-R6 年度累計	25	5	60.0%	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年よりUIJターン就職に踏み出す人の数が少なかったと思われる。
事業参加者の資格取得者数の割合	年度末	%	H30年度	75.0	R2年度末	87.5	R6年度末	80.0		109.4%	達成。委託先事業所による丁寧な指導が奏功し、資格取得に繋がったため。
人口10万対医療従事者数(看護師)	年末	人	H27年末	1,237.2	H30.12末	1,473.6	R6年末			達成	看護師の維持・増加ができています。
障がい者雇用率達成企業の割合(対象企業:45.5人以上)	年6月	%	H30.6月	59.4	R2.6月	59.6	R6.6月	63.0		94.6%	職場実習事業等を継続して実施してきたことによりKPI数値には届かないが、前年度より4.0%増加した。
就労支援プログラムに参加し、就労開始した人数	年度	人	H30年度	336	R2年度	246	R6年度	340		72.4%	第2期KPIに比べて94人(27.6%減)、第1期実績値に比べて55人(18.2%減)少ないが、コロナ下において求人活動等の機会が減少した事情を鑑みると、一定の成果が上がっているものと判断する。
就労支援等に参加し、就労開始又は増収となった人数	年度	人	H30年度	80	R2年度	49	R6年度	80		61.3%	第2期KPIに比べて30人(37.5%減)少ないが、コロナ下における求人状況を鑑みると、第1期KPI及び実績値とほぼ同値であることから、一定の成果が上がっているものと判断する。
マタニティ講座を受講したことで「妊娠・出産・育児に対する不安の解消に役立った」と答えた割合	年度	%	H30年度	99.1	R2年度	99.1	R6年度	100		99.1%	例年と同等の結果を保っている。
子育て支援拠点センター延利用者数	年度	人	H30年度	55,152	R2年度末	24,425	R6年度	4万人以上の維持		未達成	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用人数を制限し、予約制にして開所したためKPIは達成できなかった。
乳幼児健診平均受診率	年度	%	H30年度	96.7	R2年度	96.9	R6年度	97.0		99.9%	例年と同等の受診率を保っている。

重要業績評価指標(KPI)	年・年度	単位	現状値		実績値:1年目 (R3年度報告)		KPI			進捗率	※ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目
			年・年度	数値	年・年度	数値	年・年度	数値	※ 年度累計 の単年度平均		
ファミリー・サポート・センター会員数	年度	人	H30年度	1,226	R2年度末	1,204	R6年度	1,348		89.3%	新規登録会員と、転勤や対象年齢を外れたことにより退会した会員数の差し引きの結果減少し、KPIは達成できなかった。
放課後児童クラブの待機児童数	年度	人	H30年度	0	R2年度末	0	R6年度	0		100.0%	対象児童の全受け入れにより目標達成
特定目的住宅「子育て世帯向け住宅」の提供戸数	年度	戸	R1.9月末	45	R2年度末	60	R6年度	100		60.0%	定期公募において、既存住宅の他に新築住棟から複数戸を提供したから、目標に近づく達成状況となった。
全国学力・学習状況調査における児童生徒の科目の平均正答率の状況(全国を100とした比較の値)(小6国語)	年度	-	R1年度	103.1	R2年度	-	R4年度	100.0以上		-	新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等により、令和2年度調査は中止
全国学力・学習状況調査における児童生徒の科目の平均正答率の状況(全国を100とした比較の値)(小6算数)	年度	-	R1年度	98.2	R2年度	-	R4年度	100.0以上		-	新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等により、令和2年度調査は中止
全国学力・学習状況調査における児童生徒の科目の平均正答率の状況(全国を100とした比較の値)(中3国語)	年度	-	R1年度	94.0	R2年度	-	R4年度	100.0以上		-	新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等により、令和2年度調査は中止
全国学力・学習状況調査における児童生徒の科目の平均正答率の状況(全国を100とした比較の値)(中3数学)	年度	-	R1年度	90.5	R2年度	-	R4年度	100.0以上		-	新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等により、令和2年度調査は中止
不登校を理由とする欠席が年間30日以上の子どもの出現率(小学校)	年度	%	H30年度	1.04	R2年度	1.95	R4年度	0.2%未満		未達成	児童生徒数全体は減少傾向にあるが、不登校の要因の複雑化・深刻化に伴い、不登校児童生徒数が増加傾向にある。
不登校を理由とする欠席が年間30日以上の子どもの出現率(中学校)	年度	%	H30年度	4.49	R2年度	7.18	R4年度	2.0%未満		未達成	児童生徒数全体は減少傾向にあるが、不登校の要因の複雑化・深刻化に伴い、不登校児童生徒数が増加傾向にある。
1人当たり1年間に図書館で本を借りる回数(小学生)	年度	回	H30年度	1.74	R2年度	1.04	R6年度	1.80		57.8%	新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館等の影響で利用者数が減少したため実績値も減少。
1人当たり1年間に図書館で本を借りる回数(中学生)	年度	回	H30年度	0.58	R2年度	0.38	R6年度	0.60		63.3%	新型コロナウイルス感染症感染拡大による臨時休館等の影響で利用者数が減少したため実績値も減少。
阿寒高校の入学者数	年度	人	H31年度	23	R3年度	17	R6年度	20人以上		未達成	目標には達していないものの、昨年度より1名増となった。奨学金制度の周知等を引き続き実施し、進学率の底上げを図ることで入学者数の確保につなげたい。
放課後児童クラブの待機児童数【再掲】	年度	人	H30年度	0	R2年度末	0	R6年度	0		100.0%	対象児童の全受け入れにより目標達成
コミュニティ・スクールを導入している小中学校の割合(小学校)	年度	%	H30年度	23.1	R3年度	38.5	R4年度	60.0		64.2%	「釧路市教育推進基本計画」に基づき、各学校や地域の状況等を踏まえ、調査研究期間を経て計画的にコミュニティ・スクールの導入を進めている。
コミュニティ・スクールを導入している小中学校の割合(中学校)	年度	%	H30年度	20.0	R3年度	33.3	R4年度	40.0		83.3%	「釧路市教育推進基本計画」に基づき、各学校や地域の状況等を踏まえ、調査研究期間を経て計画的にコミュニティ・スクールの導入を進めている。
患者満足度(市立釧路総合病院)	年度	%	H30年度	92.2	R2年度	95.0	R6年度	96.0		99.0%	職員の接遇、患者さんへの説明の面で評価率の向上が見られた。
若者健診受診者数	年度	人	H30年度	579	R2年度	540	R6年度	750		72.0%	例年と同等の実績を保っている。
住民基本台帳に基づく居住誘導区域の人口密度	年度末	人/ha	H30年度末	47.5	R2年度末	46.42	R6年度末	43.0人/ha以上		達成	居住誘導区域の人口密度は減少しているものの、令和2年度末の実績値は目標値を上回る数値となっている。
路線バス輸送人員	年度	万人	H29年度	504	R1年度	494	R6年度	現状輸送規模を維持		達成	総人口の減少などにより輸送人員は減少傾向にあるものの、R元年度より、地域公共交通再編実施計画に基づくバス路線の再編や待合環境の整備、高齢者外出促進バス事業(おでかけバスポート70)の実施など、各種施策により公共交通の利用促進を図っている。
空家等改善件数	年度	件	H28-30年度平均	57	R2年度	50	R6年度	60		83.3%	空家等所有者への通知、特定空家所有者等への指導・助言、不良空家等除却補助制度の活用をしながら空き家等の対策を実施しましたが、指標値60件に対し、実績50件となり、10件減となりました。
町内会への新規入会戸数	年度	件	なし		R2年度	351	R2-R6年度累計	1,000	200	175.5%	新型コロナウイルスの影響により直接働きかける取組はできなかったが、企業からの寄附により釧路市連合町内会でジャンパーの作成等新たな取組を行い町内会の重要性を周知した。
釧路市防災総合訓練への参加者数	年度	人	R1年度	1,303	R2年度	-	R6年度	1,500		-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
地震から津波発生に特化した防災意識を高める授業を実施する小中学校の割合(小学校)	年度	%	H30年度	96.2	R2年度	88.5	R4年度	100		88.5%	これまでの防災教育のノウハウが学校現場に浸透するとともに、関係機関の協力が円滑に進められている。
地震から津波発生に特化した防災意識を高める授業を実施する小中学校の割合(中学校)	年度	%	H30年度	86.7	R2年度	100.0	R4年度	100		100.0%	これまでの防災教育のノウハウが学校現場に浸透するとともに、関係機関の協力が円滑に進められている。

重要業績評価指標(KPI)	年・年度	単位	現状値		実績値:1年目 (R3年度報告)		KPI			進捗率	KPIと実績値の比較 (評価等)
			年・年度	数値	年・年度	数値	年・年度	数値	※ 年度累計 の単年度平均		
釧路港貨物取扱量	年	万トン	H30年	1,496	R2年(2021/5/19 時点の速報値)	1,445	R6年	1,637		88.3%	令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い飛行機減便等により燃料に係る石油関係の移入減少に加え、日本製紙釧路工場の製品生産減少に伴い、木材チップ輸入量や紙・パルプ移出量が減少した。しかし、バルク棧橋の通年供用開始によりとうもろこしの輸入量が増加し、今後も飼肥料に加え、火力発電事業に伴う燃料等の取扱量増加が見込まれ、釧路港全体の取扱量は目標に向けて推移していくものと考えられる。
釧路空港乗降客数	年度	万人	H30年度	81.2	R2年度	33.9	R6年度	90.0		37.7%	新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要の減少、並びに、需要減少に伴う航空会社による減便により、数値が大きく落ち込んだ。
患者満足度(市立釧路総合病院)【再掲】	年度	%	H30年度	92.2	R2年度	95.0	R6年度	96.0		99.0%	職員の接遇、患者さんへの説明の面で評価率の向上が見られた。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目